

第20回 長南町過疎対策検討委員会議事録（要旨）

平成25年12月10日（火）
庁舎分館2階第一会議室
18時45分から

出席者 過疎対策検討委員会委員10名
事務局 石橋課長、常泉室長、小澤

会議資料

- ・政策名：「若年層を取り込み、元気なまちづくりの火を起こす情報発信」
- ・政策名：子育て支援の拡充と交流拠点整備による長南町の活性化
- ・政策名：空家を活用した長南町への定住促進
- ・政策名：「市」の復活による長南町の活性化と移住定住の促進
- ・提言4 農業経営のイノベーションによる雇用の創出と長南町の活性化
- ・政策名：創造型産業の醸成と誘致

1. 委員長あいさつ

本日で提言書の取りまとめを終えたいと考えておりますので、委員の皆さまどうぞよろしく願いいたします。

2. 検討・協議の内容

（岩瀬委員長）

長南農業のイノベーションの部会のほうからお願いします。

（三十尾委員）

現状と課題の中で、「また次世代の農業経営者を育てる為に、安全志向が高い若い都市住民の就農による新時代の第2種兼業農家の定着を進め、大規模経営と若い都市住民の就農による新たな農業経営によって、本町の農業を維持発展させる取り組みが必要ではないかと考えられる」といった内容を追加いたしました。

また、政策の内容の中で「③経営能力に秀でた農業経営者の育成と誘致の促進を図る」という内容を追加しました。

(岩瀬委員長)

ご意見・質問等のある方はありますか？

それでは、ご意見など無いようなのでこの内容で提言といたします。

つづいて、創造型産業の醸成と誘致についてお願いします。

(武田委員)

政策の内容の中で⑩税制度の活用について、一部金額の表現が具体的過ぎたので、自由度を持たせるために金額の表示を修正いたしました。前回の内容より変更した内容については以上になります。

(岩瀬委員長)

ご意見・質問等のある方はありますか？

それでは、ご意見など無いようなのでこの内容で提言といたします。

つづいて、子育て支援の拡充と交流拠点整備による長南町の活性化についてお願いします。

(長谷川委員)

まず、現状の中に「また、町内に塾などの教育システムがないため、町外の学習塾に通わせているため、塾の費用だけでなく、送り迎えによる時間的・物理的・精神的負担が重くのしかかっている現状がある。よりよい学習環境を求めることも町外への移住を加速している。」という内容を追加しました。

また、課題の中のニーズの把握ができていないの中に「高校や大学受験（中学受験含む）に向け、学校以外の学習施設が乏しいため、保護者の負担過大を強いている。」という内容を追加しました。

また、これに関連して、政策の方向性の中に「4-2：学校以外の学習施設を設け、町内で十分な教育が受けられるよう実践する。塾の誘致が理想であるが、困難な場合は有力な家庭教師を招いて、3人以内の少人数制クラスの形式をとるなど、人口が少ないからこそ実現可能な独自の形式を築くことが望める。また、町と保護者共同で費用負担することで、保護者への負担が軽減できる。将来的に旧校舎の転用などを含め、町内の公共施設、さらに空き家を有効活用し学習場所を設けることで、保護者に負担をかけることなく、子供が独自に通うことが可能になる。」という内容を追加しました。

また、展開方法について具体的な年月の表現に変更いたしました。

(岩瀬委員長)

ご意見・質問等のある方はおりますか？

それでは、一つだけお願いがあるのですが、他の政策内容の表示方法と統一するために、現状と課題については分けないで、まとめて表示していただけるように変更をお願いいたします。

それでは、他にご意見など無いようなのでこの内容で提言といたします。

つづいて、空き家を活用した長南町への定住促進についてお願いいたします。

(武田委員)

前回の時に指摘のあった政策の内容の番号の表示の誤りを修正いたしました。

(岩瀬委員長)

それでは、この政策については、前回も特にご意見等ありませんでしたので、この内容で提言といたします。

つづいて、「市」の復活による長南町の活性化と移住定住の促進についてお願いします。

(長谷川委員)

まず、政策の内容の中の①について、実行委員会ではなくて、実行推進部会に変更しようと思います。また、④について統廃合により現長南小学校校庭が駐車場として活用する気音が見込めるという内容を追加しました。

(岩瀬委員長)

ご意見・質問等のある方はおりますか？

(中橋委員)

商工会として、Kトラック市をやる計画を検討しています。場所は、商工会の駐車場を予定しております。小さくても良いので、とにかくやってみようと考えております。

(岩瀬委員長)

ほかにご意見・質問等のある方はおりますか？

それでは、ご意見など無いようなのでこの内容で提言といたします。

つづいて、情報発信についてお願いします。

(白井委員)

政策の内容の②について「移住してから間もない町民や来町者にとっては、町の公共施設（役場、小中学校等）までのアクセスが分かりづらいため、主要道路に現地までの「誘導看板」を設置する」という内容を追加しました。

また、施策の展開方法について前回の協議では推進委員会を立ち上げ実施可能な施策から順次実施していくということが話し合われたので、そのように内容を修正してあります。

(武田委員)

フォント（小文字の半角）が違っているようなので、他の部会のもので統一したほうがよいと思います。

(岩瀬委員長)

政策の内容の①について圏央道のSAは実現不可能なので、PAとします。ほかにご意見・質問等のある方はありますか？

それでは、ご意見など無いようなのでこの内容で提言といたします。

次に、「はじめに」の文書・及び表紙についてご確認をお願いいたします。

一部指摘のあった箇所については修正をして、この提言書を12月17日（火）、午後1時30分から役場にて町長へ提出したいと思います。委員の皆さんの出席をお願いいたします。

皆様のご協力で、20回の委員会を重ねることにより非常に素晴らしい提言書ができたと思っております。この内容を役場執行部にて取り上げていただいて人口減少の抑制や過疎の解消に繋げていただきたいと思います。

そして、私たちに与えられて任期は平成26年3月末までございます。今後の委員会のあり方について考えたいと思います。

(石田アドバイザー)

提言書を今後推進していく筋書きについて、話し合いをしていく必要があると思います。この話し合う機会を年明け1月以降に持つようにしたほうがよいのではないのでしょうか？

(岩瀬委員長)

それでは、次回の過疎対策検討委員会は、平成26年1月28日（火）午後6時30分から長南町役場分館第一会議室で行います。

午後8時30分 閉会